

第699回番組審議会報告

2025年6月3日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長、栗栖義臣副委員長、小川明子委員、川瀬慈委員（書面）、小島幸保委員、曾我部真裕委員、津村記久子委員、長谷川豊委員

■毎日放送出席者

宮田副社長、高山常務、酒井常務、礪澤取締役、北野取締役、中野取締役、羽根報道情報局長、奥田コンプライアンス局長、森岡プロデューサー、下濱総合演出、東郷広報部長、中西番組審議会事務局長

◆審議事項

テレビ番組「よんちゃんTV」

「最旬！井マン」（4月25日放送分）

「発掘まち自慢！自転車たび」（5月8日放送分）

「潜入！今昔探偵」（5月12日放送分）

【各委員の主な意見は次の通り】

「最旬！井マン」（4月25日放送分）

- * 川地アナが実際に手伝って、自分の実感から出てくるものを伝えるという演出がよくできていると思った。
 - * 若手アナウンサーの個人のスキルやよいところを引き出すことがしっかりとできている印象だ。生放送のちょっとしたトラブルもかえって川地アナのピュアさを引き出せているのではないかな。
 - * スタジオの出演者が早く食べるよう急かすのを見て、アナウンサーは食材をリポートする役割があるので、そこまで急がせなくていいのではないかなと思った。
- 「発掘まち自慢！自転車たび」（5月8日放送分）
- * 自転車を走らせながら地元の人々の声を直接すくい上げていく構成に好感を持った。ドローンで撮影した風景も美しく、ライブ感があつた。
 - * 山崎アナウンサーの明るく親しみやすいキャラクターで楽しく視聴できた。からっとして明るく、ほっこりしてすごくよかった。
 - * 自転車に乗りながら全然ぶれずにずっとリポートし続けているのを見て技術を感じた。

- * NEWSの楽曲に関するやり取りや使用する演出については、やや内輪ノリの印象を受けた。
- * アポなしの取材でお店がお休みだったりすると本当だと感じる。
- * 取材交渉をして「取材オーケーでした」という映像を何回も見ると「割とオーケーしてもらえんだろうな」と思ってしまうので、毎回入れなくてもいいのではないかな。

「潜入！今昔探偵」（5月12日放送分）

- * 福島アナはその場で並んでいる人も巻き込んで盛り上げるのがすごくうまい。テレビの中継を温かく見守ってもらえる状況を作るところがさすがだなと思った。
- * もっと広報責任者の話や来館者の感想を反映すれば、より番組としての厚みや説得力が増したのではないかな。
- * 開館日がベトナム戦争の終結日であると紹介していたが、結局この記念日に合わせたのか、単に工事が間に合わなかったのかどちらかわからないままだった。
- * 福島アナは出口から入っていたが、並んでいる人の気持ちになるとテレビだけ特別と感じてしまうのでは。入り口から入るか最初から建物の中からスタートの方が視聴者の理解が得られるのではないかな。

「よんちゃんTV全般」

- * 3人のアナウンサーが三者三様に現場の声をみずみずしく伝えていて、情報番組の大きな目的は果たしているように感じた。
- * VTRに集中したい時にスタジオのやり取りの音声が少しうるさくて気になる時がある。
- * 「（制作者の説明の中で）視聴者の関心に合ったものを選ぶ」とあったが、視聴者がまだ自分が関心を持ってないと思っているものに目を向けさせたり、視聴者の一歩先を見て何かを拾ってることが重要だと思う。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

- * NEWSの楽曲についてはゲストにも楽しんでもらって番組として温かい雰囲気を出したいという狙いだったが、違和感を持たれたとしたらこちらの意図が伝わりにくかったのだと思う。
- * アポなし取材はドキュメントの要素として行っているが、「これはどう見たらいいんだ」と思って見ている方もたくさんいるのだろうと気づかされた。
- * 報道情報番組で世の中のニュースや話題を幅広く伝えている制作者として、視聴者からルールやモラルを守っているかどうか厳しく見られているということを常に心しておかなければならないと思った。

以上